

【議事録】

実施日時 : 令和7年(2025年) 11月20日(木) 10:00 ~ 12:00

会議名	第4回 相談支援部会	実施場所	中央市民会館 4階
参加者	越谷地域生活センター有朋 こしがや希望の里 障がい者相談支援センターテイク 相談支援事業所A4 相談支援事業所えび 相談支援センター合 越谷市障がい者支援 センターしらこぼと ソーシャルワーカー事務所らでん 相談支援センターつばめ 神明苑 障害福祉サービス事業所かなめ 相談支援事業所3250 こども療育センター こしがや 相談支援事業所ひまわり越谷 相談支援事業所らしくともに 指定特定・ 障がい児相談支援事業所ゴールド 相談支援事業所カルディアビーマ 障がい児相談 支援事業所すまいる工房 基幹相談支援センター東部・西部・南部・北部 障害福祉 課 桑原CW・杉本CW・原CW 子ども福祉課 野中CW		
会議内容	<p>(1) 障害福祉課より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労選択支援について→実利用無し。利用者がいた場合、共有と言う事で基幹相談支援センターに上げていく。 ・受給者証の配架について→メールにて周知したが口頭でも説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ①事業所から連絡を頂き取りに来る日を伝えてもらう。 ②名札、名刺などを提示して身分が分かるものを提示。 ③リストを職員に提示。取り扱いを十分に気をつける。 ・車いすの申請について→車いすの種類だけで3種類に分かれてしまう。資料を整えて提出。医学的意見書が必要になる。埼玉県総合リハビリテーションセンターでの判定になる(この場合は意見書なしでOK)がここでもかなりの時間がかかる。 ・子ども福祉課→チラシ2枚案内 <p>【①医療的ケアが必要な方たちの災害防災について ②グリーフケア研修(支援者向け)】</p> <p>○質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いすの申請に長い時間がかかると言われているがだいたいどれくらいかかるだろうか→半年から1年かかると思って欲しい。 ・受給者証の写しの提供について子ども福祉課は？→行わないと決定した。 ・受給者証の写しは以前の決定が欲しいと依頼しても大丈夫か→大丈夫。人数が多い場合は前もって言ってほしい。 <p>(2)定期巡回の報告 10. 11月の巡回。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援部会で集まるのが大変なのでZOOM開催がいい。 ・経験年数にて研修・集まりを開催してほしい。 ・放課後等デイサービスは全体で考えて足りているのか検討した方がいいのでは？との話が上がった。 ・親御さんが働いている中でアポイントを取ることが大変。土日、遅い時間の対応になってしまう。相談員として土日祝日の動きも必要になるのでは。 ・利用者との関わりの中でセクハラがあったが対応はどう考えたらいいのか→市全体で考えることが出来たらいいと思う。 ・外国籍の対応になると子だけの支援ではなく親の支援も入ってくる。 ・生活支援拠点がわかりづらく使いづらいとの意見も上がり、これから整えていくことを伝える。 ・生活介護・放課後等デイサービス・居宅介護などの情報が欲しい。 <p>(3)基幹サロンの報告 10/31で開催をしランチ会を初めて行った。事業所は3事業所、5名の参加。電話の頻度、勤怠形態の確認、にも包括の案内などの話が出た。</p> <p>(4)事例検討 ファシリテーター、発表者はあとで集まることにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童→福祉サービスのみで生活していくことは難しいと思う。親が療育と働くことの両立をしている家庭もあり、医療的ケアが必要な方の支援について考えていく必要がある。 ・難病→1人での外出困難。サービスに繋がるまでどのように支援するか。インフォーマルでは民生委員。携帯を所持していない方だったので余計なお金が出ないのでプラス方向で話せた。 ・身体障がい→介入することが限られてしまう。訪問入浴、デイサービスの利用と思うが事業所が少ない。入浴が毎日出来ないということはどうか。 ・知的障がい→兄弟でグループホームに入居。本人が思っているより支援者が感じている方が出来ないことが多いとの事だった。本人が思っていることを行うには難しいことが多い。 ・発達障がい→距離感を掴むのが難しい。いろいろなサービスに繋がっていくし、機関を巻き込んでいく。 <p>○発表での振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまる前に発表になってしまう。放課後等デイサービスも見学も行けない医療的ケアが必要な方の支援がどこまでできるか、課題である。 ・相談員という立場をHP、一般就労などには全く周知されていない事が困っている。 ・事例検討を出した方が発表するともう少しスムーズにいくような感じもあり。 ・相談員はインフォーマルも知らないといけないと感じる。インフォーマルの情報も欲しい。 		